

# 令和3年度 第2回 大阪府堺市保健医療協議会

## 医療・病床部会 議事概要

日時:令和4年1月24日(月)午後2時から午後3時20分

開催場所:web会議

出席委員:15名

(委員定数22名、定足数11名であるため有効に成立)

岡原委員、大里委員、尹委員、大町委員、片岡委員、亀井委員、河内委員、高橋委員、田内委員、田端委員、西尾委員、馬場委員、堀委員、前原委員、横田委員

### ■議題1 令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1】令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料5】二次医療圏における各医療機関の診療実態

【資料5(別添)】堺市二次医療圏における各医療機関の診療実態

【参考資料1】過剰な病床の状況

【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況

【参考資料3】地域医療構想に関する各種データのHP公表について

【参考資料4】重点支援区域について

【参考資料5】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)

【参考資料6】医師の働き方改革について

【参考資料7】小児医療提供体制の検討について

(意見等)

○特になし

### ■議題2 令和3年度堺市二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況

### ■議題3 令和3年度堺市二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療推進課から説明。

昨年度、継続協議となった堺咲花病院の病院プランについては、本部会としては認めることで保健医療協議会に報告することとなった。

【資料2】令和3年度堺市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

【資料3】令和3年度病院プラン各医療機関別一覧

【資料4】令和3年度堺市二次医療圏病院連絡会結果(概要)

【資料6】非稼働病床の現況について

(質問)

- 今回の新型コロナウイルス感染症への対応の経験から、急性期病床に一定の余裕がなければ新興感染症への対応は難しいのではないかと考える。堺市と大阪府に意見を伺いたい。
- 高度急性期と急性期の明確な報告基準はあるのか。

(大阪府の回答)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地域医療構想について、今年度は実態把握ということで、データの収集まで行ったが、その先の方向性については、固まっていない。また、病床数の必要量等のデータの見直しなどについても国とも意見交換していきたいと考えている。今後の急性期病床の在り方についても、各病院の実態や役割を確認しながら、方向性をお示ししたいと考えている。
- 高度急性期と急性期の報告基準の違いについては、整理できていない。次年度以降に大阪府としての見解(特に急性期一般入院料1の基準)を示していきたいと考えている。

(堺市の回答)

- 新型コロナウイルス感染症への対応については、大阪府と連携を取りながら、対応していきたい。

(堺咲花病院からの説明)

- ポストアキュート、サブアキュートを中心に担い、併せて慢性期医療を行う必要があると考えていたため、昨年度、休止病床は慢性期としての活用を検討してきた。しかし、本圏域の状況を踏まえると、急性期を強化すべきとの結論となった。

(意見等)

- 病院プランが全病院から提出されたことは良かった。
- 各医療機関の診療実態等のデータが示されており、堺市二次医療圏に足りない医療機能について共通認識を持つことも大事である。本件の協議については、今後の課題とさせていただきたい。

■議題4 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療推進課から説明

【資料7】地域医療への協力に関する意向書提出状況(診療所新規開設者)

【資料8】地域医療への協力に関する意向書提出状況(医療機器新規購入・更新者)

(意見等)

- 特になし

■議題5 堺市二次医療圏における第7次医療計画の中間評価

資料に基づき、堺市健康福祉局健康部健康医療推進課から説明。  
【資料9】第7次大阪府医療計画 中間評価 堺市二次医療圏

(意見等)

○特になし

■議題6 その他

近畿大学病院より、堺市圏域における開設の現状について報告。

(質問)

○開設する800床について、病床機能は決まっているのか。

(近畿大学病院の回答)

○議題3でもご意見が上がっていたとおり、高度急性期と急性期の報告基準が明確には定められていないこともあり、800床全てを高度急性期で届出る予定にしている。